

長岡 栄 (独立行政法人 電子航法
研究所)

発表 約 20 分、質疑応答 約 10 分

講演会について

1. 日本航海学会第 124 回講演会の日時：
平成 23 年 5 月 26 日 (木)

2. 会場：
今回、講演会の会場は研究会の会場とは
異なり下記の神戸市産業振興センターと
なります。お間違えなきようご注意ください。

神戸市産業振興センター
第 1 会場：9 階会議室 902+903
第 2 会場：9 階会議室 904+905
第 3 会場：9 階会議室 901 (第 9、第 10
セッション)、8 階会議室 801
(第 11、第 12 セッション)

神戸市産業振興センターの住所・連絡先
〒650-0044
神戸市中央区東川崎町 1-8-4
Tel. (078) 360-3196 (施設管理課)
<http://www.kobe-ipc.or.jp/>



神戸市産業振興センター案内図

公共交通機関：

JR 神戸駅より徒歩約 5 分

阪神電鉄 西元町駅より徒歩約 6 分

神戸高速鉄道 高速神戸駅より徒歩約 8
分

市営地下鉄海岸線 ハーバーランド駅よ
り徒歩約 5 分

3. 講演内容：

航空、GPS/GNSS 関係の発表は、残念な
がら 1 件もございません。

FAA、NextGen の試験運用に乗り出す

連邦航空局 (FAA) は、ボストン、ニュー
ヨーク、フロリダ、カリブ海の間の運航で
2012 年から NextGen の試験運用をするため
に JetBlue 航空と契約した。

米国運輸省長官は「NextGen は我々の運輸
システムの未来への重要な投資である。それ
は、航空をより安全に、より効率的に、そし
てより環境に優しくするために我々の空域を
変えるための最新技術を使用する」と説明し
た。

35 機までの JetBlue 航空の A320 機に、今
後 2 年間で ADS-B (放送型自動従属監視)
の機器が備え付けられるだろう。これにより、
レーダ監視を必要としないで東海岸の 2 つの
主要経路を飛行することが可能となるだろう。
これにより ADS-B の下での精度、完全性、
信頼性の改善が期待できるため、その航空会
社はいつでも、これらの経路を利用できるよ
うになるだろう。

その契約は、東海岸からカリブ海への新た
なより短い ADS-B のみの経路の開発を導く
ことにもなるだろう。FAA は、JetBlue の便
益となる飛行を監視して、ADS-B の実時間運
航評価を行うことによって NextGen のデー

タを収集するだろう。

FAAはADS-B機器のために420万ドルを支払うことで合意した。JetBlue航空は、飛行操作や操縦士や航空機の保守の準備をし、運航管理者と運航乗員の訓練のために資金を回すだろう。

FAAとその航空会社はADS-B技術によるコスト削減効果を論証することを期待している。JetBlue航空は、その後、自費で残りのA320にもADS-B機器を搭載することになるだろう。

(RIN (Royal Institute of Navigation) Navigation News, MAR/APR 2011 より 訳:天井 治)

GLONASS、6月までに運用の見込み

ロシア宇宙局 Roscosmos はあと2回の更なる衛星の打ち上げにより、2011年6月までにGLONASSを運用状態にすることを宣言した。彼らは長官に従って、衛星配置を完成させるために5月から6月の間に別の3基のGLONASS-M衛星をプロトンロケットに搭載して打ち上げるだろう。

12月5日の3基のGLONASS-M衛星の喪失は、直接の損害としてロシアに2億5千万ルーブル(約70億円)の費用がかかり、替わりの打ち上げのために3億ルーブル(約90億円)が割り当てられたと報告されている。

ロシアは既に軌道上の2基の予備のGLONASS-M衛星を使用可能にした。また、Roscosmosには2月~3月に1基の新世代の衛星GLONASS-Kの打ち上げ計画がある。これは現在運用中の衛星の番号で23番の軌道に投入されるだろう。

つまり、この5月から6月の追加の打ち上げで、全世界をカバーするのに最低限必要な24個の衛星の配置がやっと達成されると知るべきだ。

(RIN Navigation News, MAR/APR 2011 より 訳:天井 治)

EU、航空会社のブラックリストを更新

欧州委員会は、EU(欧州連合)から飛行を禁止された航空会社のリストの16回目の更新を承認した。2010年11月23日に発行されたそのリストは9月に成立したそれまでのものと置き換えられる。そのリストには19ヶ国で公認された全ての航空会社が含まれている。欧州連合内での運航が完全に禁止されている、一般に知られている276の航空会社も含まれている。更に、そのリストには、厳しい制限の下で条件付きでEU内での運航を許可された10の航空会社も含まれている。

欧州航空安全局(EASA)には、飛行を禁止された、もしくは飛行を制限された航空会社への技術支援の任務を果たすことの権限が与えられている。

(RIN Navigation News, JAN/FEB 2011 より 訳:天井 治)

イベント案内

(国内)

- ・日本信頼性学会 第19回春季信頼性シンポジウム

日程 2011年6月3日

会場 (財)日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル(東京都渋谷区)

<http://reaaj.i-juse.co.jp/event/2011/110603-3.html>

- ・The 28th International Symposium on Space Technology and Science

日程 2011年6月5日~12日

会場 沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)

<http://www.ists.or.jp/2011/>

- ・平成23年度(第11回)電子航法研究所研究発表会

日程 2011年6月16日～17日

会場 独立行政法人 海上技術安全研究所 講堂(東京都三鷹市)

http://www.enri.go.jp/news/osirase/happyou_index.htm

- ・第43回流体力学講演会/航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム2011

日程 2011年7月7日～8日

会場 早稲田大学国際会議場(東京都新宿区)

<http://www.jsass.or.jp/aerocom/ryu/ryu43/>

- ・電子情報通信学会 2011年ソサイエティ大会

日程 2011年9月13日～16日

会場 北海道大学(北海道札幌市)

http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

- ・第49回飛行機シンポジウム

日程 2011年10月26日～10月28日

会場 石川県 金沢歌舞伎座(石川県金沢市)

http://www.jsass.or.jp/rotcom/index_49_ver2011.04.28revD.htm

- ・電子情報通信学会 宇宙・航行エレクトロニクス研究会

2011年

5月20日 防衛大学校(神奈川県横須賀市)

6月23日～24日 JAXA 筑波宇宙センター(茨城県つくば市)

7月29日 電子航法研究所(東京都三鷹市)

8月24日 新潟大学駅南キャンパス(新潟県新潟市)

11月24日～25日 仙台(宮城県仙台市)

12月16日 日本工業大学(埼玉県南埼玉郡)

2012年

1月26日～27日 長崎県立美術館(長崎県長崎市)

2月16日～17日 三重大学(三重県津市)

<http://www.ieice.org/cs/sane/jpn/>

(海外)

- ・ION GNSS 2011

日程 2011年9月20日～23日

会場 オレゴンコンベンションセンター(米国オレゴン州ポートランド)

<http://www.ion.org/meetings/gnss2011/gnss2011cfa.cfm>

- ・ICSANE 2011

日程 2011年10月16日～19日

開催地 インドネシア バリ島

- ・European Navigation Conference 2011

日程 2011年11月29日～12月1日

会場 グランドタワーブリッジホテル(英国ロンドン市)

<http://www.enc2011.org/>

- ・28th International Council of the Aeronautical Sciences (ICAS2012)

日程 2012年9月23日～28日

開催地 豪州ブリスベン市

<http://www.icas2012.com/>

- ・14th IAIN World Congress

日程 2012年10月1日～3日

開催地 エジプト国カイロ市

<http://www.iaincongress2012.org/>